

2026スーパー耐久レースin岡山 N-ONE OWNERS CUPブリーフィング資料

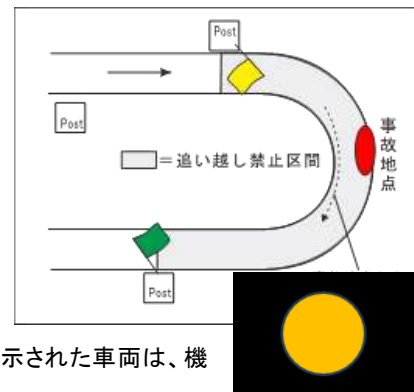
【共通項目】

1. Cパドックからの移動手順について、以下の時間に移動開始となります。オフィシャルの指示に従ってコースインする事。

	ウエイティングエリアに整列開始	ヘアピンからコースイン(先導あり)
公式予選A組	8:10	8:20
公式予選B組	8:45	8:55
フューチャーズレース	10:45	11:05
決勝レース	12:15	12:35

※走行時間中はヘアピンゲートからの入退場は出来ません。

2. ファストピットレーン進入は、**インフォメーションパネルの「1min」点灯後から可能となる。**
3. ピットレーンからコースインする際は、ピットレーン出口からトラック上にかけて引かれている白線を越えて走行しない事。
4. 公式予選、決勝レースにおいて、定められた走路のみを走行する事。公式予選において走路外を走行した周回のラップタイムは、無効とされ公式結果から削除される。また、決勝レースにおいて走路外を走行しアドバンテージを得られた場合はペナルティの対象となる可能性がある。
5. **イエローパネル表示区間**においては、事故現場を確認し、減速して現場より離れたラインを走行する事。**(追い越し厳禁)**。
ダブルイエロー表示の場合は**走行ラインが塞がれている場合もあるので特に慎重に走行する事。(停止が必要な可能性もあり)**
6. コース上で**停止**もしくは**コースアウト**によって回収作業が必要な場合は、**必ずエンジンを停止し、オフィシャルの指示に従って、出来る限り自分の車両の回収作業に協力する事。**
安全な位置まで移動させた後に走行再開することは可能。この場合は、シートベルト等の装備及び車両に問題がない事を確認の上、他車の邪魔をしないよう再スタートする事。この時、車両に載った砂利等はコースに出さないよう対応する事。
7. オレンジディスクはインフォメーションパネルおよび5・7・8・10番ポストで提示します。提示された車両は、機械的欠陥が生じているので、**直ちにピットインし車両を確認、修復する事。**
また、自己の車両がオイル漏れなどでコースを汚損している場合は、無理に走行せず直ちにコース上を外れて安全な場所に停止する事。
8. 国際モータースポーツ競技規則・附則L項、岡山国際サーキット4輪一般競技規則書 第4章第18条2. を遵守した(ブロッキング、プッシング等のない)クリーンな走行を行う事。



【公式予選】

□20分前: 指定整備場所からヘアピン入口ウエイティングエリアに整列。(ピットクルー同乗可)
□10分前: ヘアピン入口よりコースインしマーシャルカー先導でピットイン。以後、予選終了までヘアピン開口部は閉鎖。 ピットイン後、各自の作業エリアに停車し待機すること。(ピットクルー下車) ファストレーンへの進入はインフォメーションパネルの「1min」提示後から可能とする。
□公式予選開始: ピットレーン出口ランプの赤色ライト→緑色ライト点灯でコースイン。 作業をする場合は各自の指定作業エリアで行うこと。
□チェッカー後: 全車ピットインし、マーシャルカー先導でCパドックに戻る。 (間に合わなかった車両はタワー下よりBパドックを通りトンネルから外周路を廻ってCパドックに戻る)

●予選後: 指定車両再車検(Cパドック車検テント)。

【決勝レース】

9. スタート進行

□35分前: (コースイン20分前)ウエイティングエリアに整列。
□15分前: 【ヘアピン入口オープン】ヘアピン入口よりマーシャルカー先導で各自グリッドに向けコースイン。
□10分前: 【ヘアピン入口閉鎖】<赤色ライト5灯2度点滅>ヘアピン入り口閉鎖 グリッドに着かずピットレーンに進入した車両はピットスタートとなる。
□5分前: 【5min】<赤色ライト4灯>グリッドへの進入は締め切られる。
□3分前: 【3min】<赤色ライト3灯>グリッド上での作業は禁止。エンジン始動。 ドライバー、オフィシャル以外は全員グリッドから退去。 エンジンが始動しなかったり車両の異常でスタートできなくなったりした場合、直ちに後方の車両およびグリッドオフィシャルに明確に合図すること。
□1分前: 【1min】<赤色ライト2灯>
□15秒前: 【15sec】<赤色ライト1灯>この後、赤色ライト消灯→緑色ライト点灯で、競技車両は隊列を保ちながら先頭車両のペースによりフォーメーションラップを開始する。
□フォーメーションラップスタート: グリッド前方のインフォメーションパネルに「FORMATION LAP」が表示される。 ・スタート出来ない車両がある場合はそのポジションの横およびそれより後方のグリッドオフィシャルにより黄旗合図が出されるので後続の車両は注意してスタートする事。スタート出来ない車両は全車スタート後にオフィシャルによる押しがけが試みられるが、スタート出来た場合でも他の競技車両を追い越す事は出来ない。 ・フォーメーションラップ中は各ポストでグリーンパネル表示しているのでポスト位置を確認しておくこと。 ・フォーメーションラップ中のスタート練習等は禁止する。 ・フォーメーションラップで、自己のグリッドポジションを保てなかった場合、ピット進入ロードまでに自己のポジションに戻ることが出来ればグリッドからスタート出来る。ただし、下記の車両は最後尾グリッドからのレーススタートとなる。

- ① ピット進入ロードまでにグリッドポジションに戻れなかった車両
- ② フォーメーションラップに出遅れ、0番ポストでイエローを提示された車両
 - ・フォーメーションラップ終了後、全車グリッドに着くと赤色ライトが1秒間隔で5灯まで点灯する。
 - ・赤色ライト5灯点灯後、2秒以上3秒以内に全赤色ライトが一斉に消灯し決勝レーススタートとなる。
 - ・フォーメーションラップ後、車両がグリッドに着いたときに何らかの問題がある場合、以下の何れかの処置を行なう。
 - エクストラフォーメーションラップ・・・車両はエンジンを切る事なく再度フォーメーションラップを行なう。
 - スタート・ディレード・・・車両のエンジンは切られ、フォーメーションラップ開始3分前の時点から再開となる。
 - ・何れの場合もレース距離は1周減算される。

例外的な状況下の際は、岡山国際サーキット4輪一般競技規則書 附則1 16.を適用したセーフティカー先導によるスタートとする。なお、この場合フォーメーションラップがなくなり、スタートラインを超えた時点からレース周回の1周目となる。

9. 決勝レース中の反則に対しタイムペナルティが課せられる場合があり、インフォメーションパネルにペナルティを提示された対象のドライバーはピットインしペナルティを実行すること。

- 1) タイムペナルティ・・・**TIME PENALTY + Car No.**

競技結果にタイム加算する。

- 2) ドライブスルーペナルティ・・・**DRIVE THROUGH + Car No.**

自己のピットへ停止せずにファストピットレーンを通りレースに復帰すること。

- 3) ペナルティストップ・・・**PENALTY STOP + Car No.**

① 自己のピットではなくピットレーン出口右側のペナルティエリアに停車する事。(公式通知No.2参照)

② 車両が停止したら前方に設置されている「カウントダウタイマー」にてカウントダウンが始まり、表示が“0”になるとペナルティ終了となりレースへ復帰できる。

※上記2)もしくは3)ペナルティが提示されてから3周以内にペナルティを実行しない場合は失格となる。

※上記2)もしくは3)ペナルティの場合もピットレーンの速度制限60km/hを厳守する事。

●レース中に罰則を課せられない場合は、競技結果に対してタイム加算のペナルティが課せられる。

10. **レッドパネルが表示された場合は、細心の注意を払い必要に応じて停車できる速度で走行し全車ピットインすること。**

- 1) ピットインした順に18番ピット付近のファストピットレーンに停車。(ピットインしない車両はペナルティ対象の場合有り) オフィシャルの指示があるまではドライバーは車両から離れず、オフィシャル以外は車両に触れない事。

- 2) 赤旗時ピットイン後のファストレーン上での作業は可能だが、内容に制限有り。

ピット作業エリアに停車しての作業は可能だが、再開時に隊列の後ろになる。

赤旗時に既にピットインしていた車両は作業継続可能。再開時に隊列に合流可能。

(ピットBOX内に入った車両は除く)

- 3) レースの再開はピットレーンからSC先導により再開される。

レース中断後、ファストピットレーンで先頭車両より前に整列している車両は、コースインして1周し再度ピットインして隊列の後ろにつくこと。

※赤旗中断中ファストピットレーンでの車両の移動、並び替えを行う場合があるのでオフィシャルの指示に従う事。

詳細はOKAYAMAチャレンジカップレース特別規則書の通りに行なう

11. **セーフティカー(SC)の導入時**(岡山国際サーキット4輪一般競技規則書 附則1に基づく)

全ポストで「SCパネル」が表示される。全コース上での追いつきは禁止される。また緊急車両等がコースインする可能性があることを考えながら走行すること。SCの後方に続く競技車は車両5台分以内の車間距離で一列に整列して走行すること。SCから追いつきの指示(ルーフのグリーンライトの点灯)のあった競技車のみセーフティカーを追いついてコースを1周し列の後方につくこと。SCが先頭車両を捕捉後にその車両がピットインをした場合は、SCの直後に走行中の車両を先導車両とみなし、再スタートする。

競技再開のためSCがルーフのオレンジライトを消灯した以降は、SC後方に並ぶ隊列の先頭車両のペースで走行する。

SCがピットレーンに入ると各ポストの「SCパネル」が消灯し、グリーンパネル表示される。

各車両ともコントロールラインを通過するまでは、明らかに問題をかかえてスピードダウンしている車両を除き、追いつきは厳禁。なお、決勝レーススタート後1周回は12番ポスト手前右側にSCを待機させ、スタート直後のSC導入に備える。

12. **レース周回数およびレース時間について**

周回数にあわせてレース時間を設けております。(決勝レース:8周/25分)

レース周回数が走破される前に設定されたレース時間を経過した場合は、この時間が経過した後にレース先頭車両がラインを通過した時点で、レース終了の合図が提示される。(赤旗中断の場合は、中断の時間を除き、所要時間が夫々の時間に達した時点で提示される。)

13. チェッカー後は、減速及び追いつき禁止を厳守し、コースを1周して、上位3台は暫定表彰を受ける為、メインストレートへ進みコントロールライン手前に停車させた後、速やかに表彰台へ向かって下さい。その他の車両は全車ピットインして、先導者に続いて再度コースインしてヘアピンゲートよりCパドックに戻り各自の整備場所にて車両保管を行う。車両保管解除になるまでは車両整備は不可。上位車両はCパドック車検テントで再車検を行います。

14. 車両保管解除後にCパドック車検テントで公道走行チェックを行うので、スタッフの指示に従い順番に、公道走行チェックを受ける事。全車両公道走行チェックの受付終了後に決勝正式結果が発表となる。(リタイヤした車両も受検すること)

15. 本大会の賞典授与は、Cパドックの事務局分室で行いますので、正式結果発表後、JAFライセンスもしくは運転免許証等の、身分証を持参下さい。

16. 各チーム責任者は、責任を持って自チームのピットクルーの安全管理を徹底し指導すること。
ゲストを招待している場合は、各エントラントにおいてパドックでの安全マナー(禁煙等)を徹底すること。
※使用済みタイヤや部品、粗大ゴミ等をパドックに放置して帰らない事。

以上 競技長